Sustainable Report2023

(環境経営レポート、2023 年 5 月 1 日～2024年 4 月 30 日)

小長迫小水力発電所設置工事　発電タービン部（199Kw、発電事業者㈱鴻池組）

エコアクション21
認証番号 0004013

株式会社 西村工務店

発行日 2024 年 6 月 1 日

0. はじめに

2023 年の夏は、過去最も暑い 1 か月を記録した。また、台風 17 号がこの地域を直撃し、大きな被害をもたらした。さらには、冬季においては、近年稀にみる暖冬となり、近隣のスキー場は営業日数が大幅に縮小するなどし、地域の経済は大きなダメージを受けた。
地球温暖化、気候変動を実感する日々の中で、経済活動の在り方を大幅に変えていく必要に迫られている。当社は、これまで環境への取り組みには力を入れてきたが、どことなく周囲を伺いながらやっている節があったのではないかと思う。周りがやるからやるのではなく、自らが率先して環境負荷の低減に努めていかなくてはならない。むしろ地域のリーダーとして、率先して環境分野と経済活動が両立することを証明し、多くの方々が行動を変容できるきっかけをつくっていきたい。
グリーン経済という言葉があるように、すでに欧州では、環境と経済は不可分なものとして認識されてきている。私たちが住むこの町も、環境先進地域としてもっと積極的に発信をしていくべきだ。大企業を中心に新たなテクノロジーが生み出されているが、まだ、高価なものであったり、実現困難なものも多数ある。だからといって私たちが何もしなくていいという理由にはならない。私たちのような非力な零細企業であっても、環境活動を積極果敢に挑戦することで、地域社会に貢献できるようにしていきたい。

Ⅰ. 事業所の概要

（1）事業所名及び代表者氏名

株式会社 西村工務店

代表取締役　西村昌樹

（2）所在地

本社：兵庫県美方郡香美町村岡区森脇 400

森脇倉庫：兵庫県美方郡香美町村岡区森脇 192-1

福岡倉庫：兵庫県美方郡香美町村岡区福岡 17

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　西村　昌樹

連絡先　電話　0796-96-1136　FAX　0796-96-0832

（4）事業活動期間

2023年５月１日～2024年４月30日

（5）事業活動内容

建築工事業、土木工事業

（6）事業規模

年間売上高　6億 7712 万円　（前年　6億654万円　）

従業員数　　18人（2024.5.1 現在、前年 16人）

床面積　　333.9㎡

（7）建設現場等の概要（2023年度）

建築工事　　159 件（前年 191件）

土木工事　　88 件（前年63　件）

2. 認証登録範囲

（1）株式会社　西村工務店の建設部門（建設・土木）業務をその範囲とする。

（2）当社の決算年度は、毎年５月１日より、翌４月 30 日までとなっており、エコアクション 21 の活動の期間もそれを基準とする。

3. 環境経営方針

昨今、突発的な集中豪雨や台風などの大規模な自然災害が頻発しており、これは地球温暖化によるものだとの指摘がある。地方の小さな企業であろうとも、環境問題は避けて通れない大きな社会問題である。我々は、経営理念『快適で安心な環境づくり』を、より推進するため、環境経営システムを構築し、継続的改善を行い、この課題の解決に取り組むことを宣言する。

1. 環境負荷の低減に努め、特に指標として重要な CO2 排出削減（車輌から排出される CO2）、産業廃棄物の削減、水使用量の削減に取り組む。

2. 少子高齢化が進む中で若い人財の獲得が最大の経営課題であり『環境問題』に敏感な彼らに対し、誇りを持てる企業文化を醸成する。

3. 関係する環境法規及び地元との協定を遵守する。

上記を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開する。

制定日：2023年6月1日
株式会社　西村工務店
代表取締役　西村　昌樹

4. 環境目標とその実績、次年度取組内容

（1）当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	基準年度	2023年度目標(5月～4月) 2023年度通期実績(5月～4月)	2024年度目標	2025年度目標
1-1	二酸化炭素排出量削減 （電力使用量の削減）	2021年度 4,730kg-CO2 （10,329kWh）	4,158kg-CO2 （9,900kWh） 0kg-CO2 12,298（kWh）	4,116 kg-CO2 （9,800kWh）	4,074 kg-CO2 （9,700kWh）
1-2	二酸化炭素排出量削減 （ｶﾞｿﾘﾝ車両燃費の向上）	2019年度 49.0%	達成台数率 49.0%以上 Σ達成台数 67 台/Σ全台数135台 =50%	達成台数率 50.0%以上	達成台数率 51.0%以上
1-3	二酸化炭素排出量削減 （軽油車輌燃費の向上）	2019年度 30.0%	達成台数率31%以上 Σ達成台数21台/Σ全台数44台 =48%	達成台数率 32.0%以上	達成台数率 33.0%以上
2	産業廃棄物 排出量削減	2023年度 191t	191t（‘20年度同等） 471t	188t （‘20年度比99%）	187t （‘20年度比98%）
3	水使用量の削減	2022年度 445t	445t 517t	445t （‘23年度変更同等）	445t （‘23年度変更同等）
4	FP住宅の販売棟数の増加	2019年度 1棟	1棟 0棟	1棟 （‘19年度同等）	1棟 （‘19年度同等）

（注1）電力使用による二酸化炭素の排出係数は関西電力 0.42kg-CO2/kwh(関西電力 HP より）とした。

（注2）達成台数率とは、それぞれの車の前年燃費を改善した台数を当社が保有する　車の全数で除したもの

（注3）FP 住宅とは、FP コーポレーションが推進する高気密高断熱工法を用いた住宅のことである。

（注4）当社においては、化学物質（PRTR 物質）は使用していません。

（2）主な環境負荷

環境負荷		単位	2023 年度	2022年度	2021年度
二酸化炭素排出量	純排出量	kg-CO2	182,531	207,180	178,761
	売電相殺 ※1		176,543	201,215	172,736
	J-ver 相殺 ※2		156,543	191,215	168,736
一般廃棄物排出量		t	0.16	0.008	0.18
産業廃棄物排出量		t	471.8	245.7	2,575.4
水使用量		m3	517	445	484

※1…社屋の太陽光にて、売電している電気について、相殺しているものとみなした場合の二酸化炭素排出量

※2…2023 年 10 月に朝来市より、J-ver 証書 20t の購入を相殺した場合の二酸化炭素排出量

5. 主要な環境活動計画、取り組み結果とその評価及び次年度の取り組み内容について

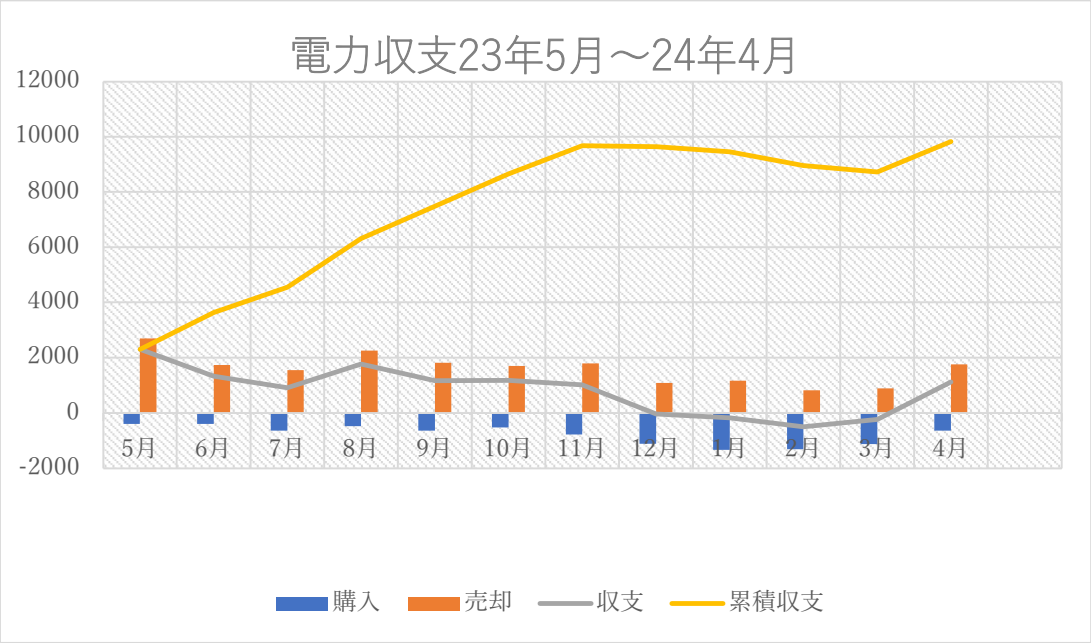
No.	環境目標	環境活動計画の概要	達成状況 (2023/5～ 2024/4)	達成率		評価	次年度の取り組み事項
1-1	電力使用量の削減	・冷房の設定温度の励行 ・暖房のバイオマス利用 ・太陽光の運用	目標: 9,900kWh 実績: 12,298kWh	81%	×	未達成 太陽光の運用	・再エネプランへの変更
1-2	ｶﾞｿﾘﾝ車輌燃費の向上	・車間距離を適度にあけ、急発進・急減速をさける。 ・無駄なｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ	目標:49%以上 実績:50%	102%	○	達成 車種の変更	・ミーティングの活用、無駄なアイドリングなし
1-3	軽油車輌燃費の向上	・車間距離を適度にあけ、急発進・急減速をさける。 ・無駄なｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟ	目標:30%以上 実績:48%	160%	○	達成 運転方法の変更	・無駄なアイドリングなし
2-2	産業廃棄物排出量の削減	・分別の徹底	目標:191t 実績:471t	40%	×	未達成 現場での廃棄物増加	・分別の徹底
3	水使用量削減	・全社員に節水意識を浸透	目標: 445㎥ 実績: 517㎥	87%	×	未達成 社内芝生の維持	・適切な運用
4	FP住宅の販売件数の増加	・住宅販売における FP工法住宅の推進	目標: 1棟 実績: 0棟	0%	×	未達成 住宅市場の悪化	・マーケティングの再構築

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容（実施体制を含む）

① 当社は、ZEB（ゼロエネルギービル）の認証を取得し、太陽光発電設備による電力にて運用をしており、建物使用におけるエネルギー消費は実質マイナス(電気購入と、売却を加味した場合、売却の方が多い)

昨年１年間における運用実績は下記のとおりとなります。

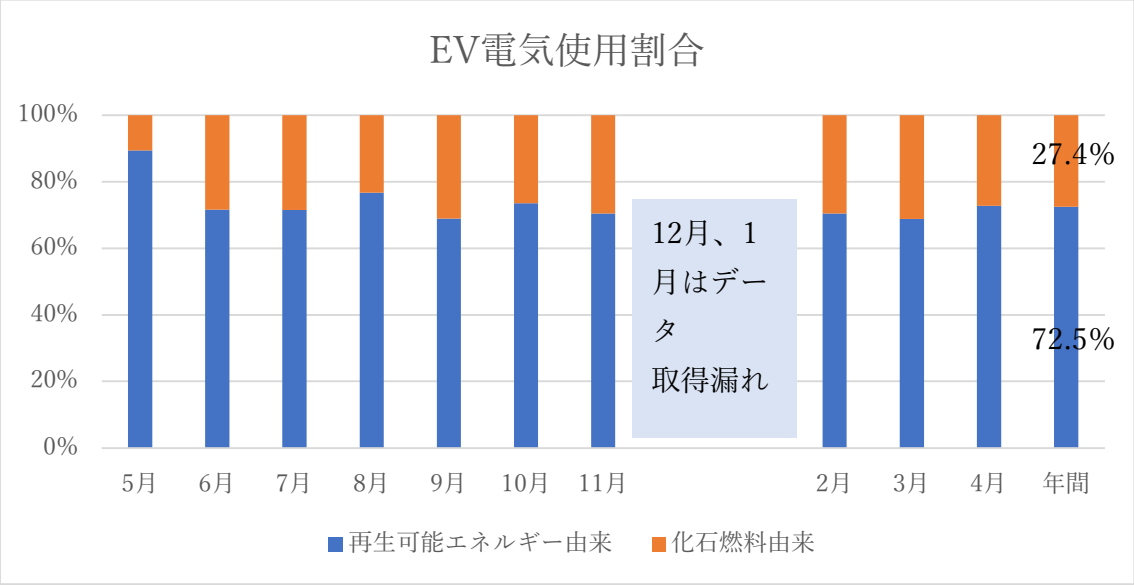
※パナソニックのエネルギーマネジメントシステムからの数値であるため、他の数値とは異なる場合があります。



② 社用車として EV を 1 台所有しており、会社及び自宅での充電を行っております。
昨年 1 年間の走行距離は、24,600 ㎞、そのうち再生可能エネルギーによる充電（会社での充電）は、72.5%となっております。

ガソリン車（トヨタカローラ平均燃費 18 ㎞/L とした場合）とした場合の CO2 排出量（2.32 ㎏-CO2/L）は、3170kgで、弊社EVによる場合のCO2 排出量は、1,004kwh（自宅充電）×0.42 ㎏=421 ㎏で、約 2,750kgの CO2 削減効果がありました。

なお、ガソリン換算（175円/L として）における年間費用は 240,000 円、EV での電費（1kwhあたりの走行距離 6km/kwh、電気代 30 円/kwh）で換算すると、123,000 円と約半分のランニングコストとなります。



③ 2023年 10 月 10 日、朝来市の発行するカーボンオフセット証書を20t-CO2 を購入いたしました。

④ 2023 年 5 月、再エネ 100 宣言 RE ACTIONに参画し、2030 年までに、弊社で使用する電力100%を再エネで調達することにコミットメントしました。2023年11月より、弊社社屋の電力調達の再エネ調達に加え、倉庫などの他の施設についても再エネ調達に切り替え、電力については 100%再エネ化を実現いたしました。

⑤ 発電事業者、株式会社 鴻池組の発注のもと、但馬内では初となる FIT の小水力発電プラント『小長迦小水力発電所設置工事』の受注し、2024 年 5 月 31 日に運用開始しました。また、その後のメンテナンス業務を受注し、維持管理に協力を行っております。

総工費 410,000,000 円（弊社工事受注部分 250,000,000 円）

発電所建屋部（発電タービン写真は、表紙に記載）

取水部

7．当社に適用される主な環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。マニフェストをは１年間集計し６月までに報告書を提出。５年間保管、産廃委託契約書の５年間保管	遵法
2	建設ﾘｻｲｸﾙ法	発注者への計画等説明書（工事着手する日の７日前まで）と完了報告書。	遵法
3	建築基準法	確認申請書を提出して建築主事の確認を受け、確認済証の交付を受ける。	遵法
4	騒音規制法	作業開始 7 日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
5	振動規制法	作業開始 7 日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
6	河川法	１日 50m3 以上の汚水を河川に排水する場合は河川管理者に届出書提出	遵法
7	フロン排出抑制法	フロンを使用する機器ユーザーに対して、使用する全ての 7.5KW 未満業務用冷凍空調機器について日常的に行う『簡易点検』をを四半期に１回実施記録に残す	遵法

8 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去５年間に1件も発生しておりません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

【環境経営方針】
・小水力の完成引渡しで環境分野での実績を積み上げることができたことは、今後当社が地域における大きなアドバンテージを得たと考える。今後も環境分野のマーケットをしっかりと獲得するためにも、相応の企業の体質を維持、発展していかなくてはならない。
・若い世代に対して、実際に企業プレゼンを行ったが、SDGS をしっかりと語れた意義は大きい。企業活動や企業文化が環境への取り組みとリンクしていてこそはじめてその説得力をもつ。このため、日ごろの活動がしっかりと環境分野とリンクしている必要がある。

【環境経営目標、活動計画】
管理目標の見直し
車両管理システムのアップデート

【実施体制】
各種環境関連のデータ収集の時間的なタイムラグの発生、見直し時にみつかる不備などが散見されており、チェック体制の強化をはかる必要がある。また環境マネジメントシステムチームで共有化されたスケジュールや進捗管理の計画をつくる。

【環境経営システム】
週末ミーティングのコメントについて、定期的なレビューを実施し、環境への取り組みに、より厚みをもたせる必要がある。

環境経営方針、環境経営目標、実施体制の変更はなし

令和6年 6 月 1 日
代表取締役 西村 昌樹